

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
2 東書	Ⅲ 301	All Aboard! Communication English III	学習者の心情や知性に訴える、バラエティーに富んだ題材が選定されており、学習者自らの考えを発信する活動を助け、国際交流の素地を培うものとなるように配慮されている。	英語に習熟していない学習者にも配慮し、学習内容が厳選され、無理なく配列されている。また、Lesson数を7とし、十分余裕をもって扱える分量となっている。	各課とも、リスニング、本文、Comprehension、Reading Out、Target Plus、Expressions、Communicationで構成されており、4技能がバランスよく身に付くよう配慮されている。	職場で使われる英語表現を練習するコラムCommunicationや、聞き取り練習のためのLet's Listenなど、活動を通して英語力が付くよう工夫されている。	「わかる、楽しめる、広がる、深まる」というプロセスを大切に、高校生にとって身近で興味・関心を喚起する題材が多く選定され、学習者の実践的な英語力が付くよう配慮されている。
2 東書	Ⅲ 302	Power On Communication English III	学習者が自らの考えを発信することにつながる、職業や環境といったテーマ性のある内容や、高校生の知的好奇心を刺激するような題材が選定されている。	Reading Skillを冒頭のPre-Lessonでまとめ、Reading Skillを確認したうえで、的確かつ適切に本文を読み進められるよう配慮されている。	Lesson 4までは短めの文章を読み、4技能をバランスよく身に付けるよう工夫されている。Lesson 5以降は、読解力を鍛えるために長めの文章が配置されている。	実際に英語を聞き取る場面を想定したListening Practiceでは、聞き取りのポイントを提示し、実践的なリスニング力が身に付くよう工夫されている。	「英字新聞の読み方」や「ダイベート」など、社会生活に活用できる英語力を養う工夫がなされている。また、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱで学習した事項を繰り返して扱い、定着を図るよう配慮されている。
2 東書	Ⅲ 303	PROMINENCE Communication English III	「現代社会」「環境」「異文化理解」「コミュニケーション」など、題材を10のジャンルに分類し、生徒が幅広い分野への知識と教養を身に付けられるよう配慮されている。	1つのジャンルにつき、500語程度で完結するLessonと1000語程度で完結するLessonの2種類を設け、目的に応じて読む分量を増やせる工夫がなされている。	Getting Startedでは、リスニングと英問英答いずれかを選択できたり、英語によるSummaryを設けたりと、4技能が有機的に統合された言語活動を英語で行えるよう工夫されている。	本課の前にReading Skills編を設け、コミュニケーション英語Ⅱで学習した内容を復習できるように配慮されている。	本文の内容に関連したアウトプット活動に取り組むことができるCommunication Activityが設けられるなど、学習者がメッセージの受信者であり送信者となるような言語活動を英語で行う工夫がなされている。
9 開隆堂	Ⅲ 304	Discovery English Communication III	生徒が楽しく英語の学習が進められるよう発見や意外性のある題材が選定されており、語学学習だけでなく、教科横断的な学習ができるよう配慮されている。	本文は140～200語程度に設定し、コミュニケーション英語Ⅱから段階的に分量が増やされている。また、新出事項はわかりやすい例文を用い、着実に定着を図れるよう工夫されている。	課末のSum Up!、Practice!、Work Together!で学習内容の確実な定着を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばすよう工夫されている。	ページ下には本文の内容や要点の理解をチェックする英問英答が設けられており、各セクションの概要や要点が確実に確認できるように配慮されている。	4技能を確実に定着させるために、日常的で身近な話題を提示するとともに、取り組みやすい言語活動を数多く配置して、生徒の意欲的な発話につながるよう工夫されている。

発行者の 番号・略称	教科書の 記号 ・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
15 三省堂	Ⅲ 305	CROWN English Communication III	エッセイや論説文、スピーチなど変化を持たせた文章で、比較文化、社会貢献、医療といった多様な題材を取り上げ、生徒の興味・関心を喚起する工夫がなされている。	各Lessonは3～4Sectionで構成されており、各Sectionは300～350語程度となっている。全体は3Partから成り、易から難へと配列されている。	各課はPre-Reading、Reading、Post-Reading、Optional Readingの4部構成で、言語の使用場面と言語の働きに留意しながら、創造的な言語活動が行われるよう配慮されている。	Reading Skillを設け、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱで習得した読み方の技術を応用して、より実践的なスキルを身に付けるよう工夫されている。	実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割を重視し、言語能力の本質としての思考力の養成のために、4技能を統合的に関連づけた活発で多様な言語活動が展開できるよう配慮されている。
15 三省堂	Ⅲ 306	MY WAY English Communication III	生徒の知性や感性を考慮して、平和や地球環境・学校生活・IT社会やスポーツなど、生徒の興味・関心を喚起する、多様な題材が選定されている。	本課の語数は、Unit1は約150語、Unit2は約300語、Unit3は約600語に分けられており、生徒の学習段階に合わせて、易から難へと配列されている。	Unit1にはQ&AとRead Again、Unit2、3はComprehension、Summary、Your Opinionで構成されており、4技能の総合的・統合的な関連が図れるように配慮されている。	課間にはSigns around Town、Words and Cultureが設けられ、実際に会話で多用される慣用的な表現が精選して系統的に扱われている。	活発で多様な言語活動を展開できるように、新語や熟語、文法事項なども表現活動に活用するよう促しており、基本的なものから発展的なものまでを統合的に取り扱う配慮がなされている。
17 教出	Ⅲ 307	New ONE WORLD Communication III	題材は多種多様であり、生徒が親しみやすい内容になっている。広い視野と国際社会に生きる日本人としての自覚が養われるように配慮されており、内容の程度も適切である。	本文の内容把握として、リスニング、内容に関する質問、要約、語彙や連語の演習、自己表現活動という順に構成されており、効果的に指導が進められるよう工夫されている。	本課に入る前に、英文を理解する上で覚えておきたい留意事項をReading Tasksとしてまとめており、学習のねらいに沿って練習ができるよう配慮されている。	美しく鮮明な写真が豊富に使用され、生徒の学習意欲を喚起するよう工夫がなされている。Take a Breakで本文の内容を深められるようになっている。	カラフルな写真を使った英語での導入が可能であり、学習者の興味・関心を高めるのに役立つ。Express Yourselfでは、学習した語句が実際の場面で活用でき、自己表現力を育成できるよう工夫がされている。
50 大修館	Ⅲ 309	Compass English Communication III	動物・科学・芸術・メディア・言語・歴史・国際交流などバラエティに富んだ題材が扱われており、生徒が身近に感じやすい内容になっている。内容の程度も適切である。	パートごとに内容理解のための質問が設けられており、学習内容の定着がその場で効率よく図れるよう工夫されている。課末にあるリスニングや文法演習の分量も適切である。	本課に入る前に、英文を読むために身に付けておきたいリーディングスキルがまとめられており、本課の学習内容がスムーズに理解できるよう工夫がなされている。	写真やイラストが豊富であり、効果的な学習を促す。Unit3では説明文やエッセイ・物語など、実生活で目にするような形式の英文を扱っている。	写真や資料が学習者の視覚に訴えかけ、本文に関する自然な発話を促す効果を持っている。課末には、英語で自分の考えを伝えるための活動が用意されており、基礎的な4技能の養成を目指している。

発行者の 番号・略称	教科書の 記号 ・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
50 大修館	コ III 310	Genius English Communication III	国際協力や環境・福祉・食糧問題など、21世紀を支える若者として考えておきたいテーマが選ばれている。英語のレベルは質・量ともに読み応えのあるもので、難易度も適当である。	導入でリスニングと重要語句の確認、最後に本文の要約作成やディスカッション、調べ学習などを行うことになっており、内容把握が段階的にできるよう工夫されている。	読んだ内容を確認させるための言語活動や、読んだ内容をもとに自らの意見を発表させる活動が用意されており、生徒のコミュニケーション能力の総合的な養成が期待できる。	各課に対応した発展的読み物(Read On!)が用意されており、生徒の読解力を高めることができる。適切なイラストや写真が学習の手助けとなっている。	各課のテーマに関連したエッセイライティングの活動が設けられており、生徒の思考力と表現力を伸ばす工夫がなされている。リスニング活動も充実しており、4技能を体系的に習得するための配慮がなされている。
61 啓林館	① コ III 324	SKILLFUL English Communication III	世界の地理、食文化、歴史、自然、環境、医学、また、友情、人生、平和まで幅広い内容を扱っており、生徒の興味・関心を喚起し、かつ生きる力を育成する題材が精選されている。	Part1とPart2にわかれており、Part1でディスコースキルの理解を深め、Part2でディスコーススキルを活用して本文を読む構成となっており、スキルを段階を経て学習できる。	Part1では各課リスニング、ライティング問題が設けられ、Part2では意見交換をし、ディスカッションにつながる設問が設けられており、4技能を活用した学習ができる。	巻末にはDiscussionの進め方、Discussionに役立つ表現が記載され、スムーズなディスカッション活動へとつなげられるようになってきている。	生徒の興味・関心を引く題材が多く、まとまった量の文章を読むスキルを段階的に身に付けられる。また、4技能を活用し、ディスカッションにつなげていくことで、コミュニケーション能力の育成も図っている。
61 啓林館	コ III 311	ELEMENT English Communication III	自国や他国の文化に触れ、新しい発見につながるような題材が厳選しており、精神的な成長に寄与できるようになっている。使用語彙のレベルは段階的に変動するように工夫されている。	導入で重要語句の確認、最後は要約、文の構成、リスニング、ディスカッション、エッセイライティングなどで構成されており、4技能がバランスよく身に付くよう配列されている。	写真やイラスト、グラフなどが豊富であり、英語での導入やまとめがしやすい。特に、ストーリーライティングの活動が充実しており、生徒が自分の言葉で表現する能力を養成できる。	各課とも本文を見開きで収録することによって、全体の構成を見通しながら読み進められるようになっており、パラグラフ間の構造が理解しやすい。	読んだり聞いたりした内容や考えを的確に理解し、それをもとに自分の考えを述べたり、文章にまとめたりする活動が充実しており、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成が期待できる。(やを削除)
61 啓林館	コ III 313	LANDMARK English Communication III	本課は語数や難易度によってPart1とPart2に分かれており、生徒が段階的に学力を付けられるよう配慮されているため、教える側にとっても扱いやすい。	新出語が側注にあるのでわかりやすい。重要語を青字にしたり、アクセント注意のマークを入れたりして、語彙学習への工夫が見られる。	課末には、内容理解の設問やリスニング活動が充実している。また、Facts & Figuresでは、図表の読み取りと自己表現ができるという特徴がある。	各課の1ページ目は写真とキーワードで構成されており、英語での導入を行いやすい工夫がしてある。	Part1には自己表現活動、Part2にはディスカッションが設けられており、生徒が積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養えるよう配慮されている。

発行者の 番号・略称	教科書の 記号 ・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
104 数研	Ⅲ 314	POLESTAR English Communication Ⅲ	大きなテーマに対して2つずつ長文が用意されている。2つ目は少し長めの長文であるので、生徒の習熟度に合わせて基礎から応用力まで育成できる。	導入での重要語句を確認する活動が充実しており、本文への移行がスムーズにできる。リスニングや要約など内容把握のための活動も豊富である。	内容理解のための質問が多種多様であり、速読や精読、スキミングなどの目的に応じた読み方が可能になるよう工夫がなされている。 (空間をつめる)	ペアワークとして、本文の要約や本文と関連するテーマについて話す活動があり、コミュニケーション能力育成に役立つ。	学習者の知的好奇心を満たすよう幅広い分野から内容が選択されている。重要語句をしっかりと定着させ、学習者が自信を持って楽しく学習ができるよう段階的に工夫されている。
104 数研	Ⅲ 315	BIG DIPPER English Communication Ⅲ	学習者が日常的な話題を通じて人間性や社会性を育むことができ、コミュニケーション英語Ⅱで培った英語の運用能力を更に伸ばせる内容・構成となっている。	SECTION I、II、IIIの三部構成であり、順を追って文章の語数を増やしており、段階的な学習ができる。客観、記述などの豊富な問題が掲載され、内容理解が深められる。	各SECTIONのまとまり毎に、文章の読み方のアドバイスや、語彙の増やし方、要約文の作成やディスカッションの仕方などの効果的なヒントが与えられている。	巻末のNOTESでは各レッスンの題材の背景知識を詳しく紹介しており、学習者が興味を持ってレッスンに取り組むことができるよう配慮されている。	題材が親しみやすく、学習した内容について、学習者自身の意見を引き出したり、クラスメイトの意見を聞いたりする活動を設けるなど、学習者が積極的に授業に参加できるような工夫がなされている。
109 文英堂	Ⅲ 316	UNICORN English Communication 3	題材については、日本の伝統文化や外国の異文化に始まり、社会事業や環境問題に至るまで幅広く取り上げ、4技能を総合的に学ぶことができる内容になっている。	各課はWARM-UP、本文、内容理解のTASK、構文や重要語の確認で構成されている。章末で本課の内容を発展させ、ディスカッションやスピーチへのスキルを習得することを目指す。	本文は人文、社会、自然科学から長短合わせてバランスよく配置されている。各課末にT/F問題、流れ図、選択問題、英作問題など工夫した内容が配置されている。	時事英語をクイズ形式で学べるBUILD UPや、比較的長い文章に挑戦させるFOR READINGを設け、学習者の意欲を向上させる内容を取り入れている。	問題の指示文を英語で統一し、外国語を通じてコミュニケーションをとる形態の授業を想定している。随所にリスニングやスピーキングの機会を設け、4技能を総合的に学べるよう工夫されている。
109 文英堂	Ⅲ 317	Grove English Communication Ⅲ	環境、国際貢献、芸術、教育と、生徒に親しみやすい題材を幅広く取り上げ、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱを土台に発展的なコミュニケーション英語の習得を目指している。	3つのUNITから構成されており、順を追って長い文章に触れていくようになっている。多くの写真が、リスニング問題、内容理解問題に使用され、ビジュアル面での工夫がされている。	本文についての全体理解の問題、要約穴埋め問題や、音声で内容理解を問う問題など豊富な問題が掲載されている。UNIT 2ではTRYで自己発信する活動を取り入れている。	3課ごとに、グラフや図表を用いた様々な問題に慣れるためのコーナーや、語いを増やすためのコーナーが設けられており、工夫がなされている。	写真や音声問題、自己発信の活動を豊富に取り入れることにより、情報を的確に理解し、考えを適切に伝える能力を育成し、コミュニケーション活動へとつなげていく工夫が見られる。

発行者の 番号・略称	教科書の 記号 ・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
177 増進堂	Ⅲ 318	MAINSTREAM English Communication III Strategic Reading Focus Advanced ○	4技能をバランスよく身に付けさせ、コミュニケーション能力を伸ばすことに重点を置いている。視覚的にも工夫し、生徒に興味・関心を持たせる題材を選んでいる。	3つのセクションから成り立っており、段階を踏んで、Comprehensionから Exercise, Activityと活動を増やし、各Chapterで学んだことを発展的に学習していく構成になっている。	題材は6つの分野から選ばれ、身の周りの社会情勢や日常生活における動きなどを取り上げている。脚注には関連語句を設け、日本語英語双方向からの知識の定着を図っている。	Section 1, 2 の冒頭にはSkills, Specialized Readingのページがあり、英文読解の基本テクニックを身に付ける構成になっている。	まとまりのある英文の理解度を的確にはかる工夫がなされている。本文で学んだ知識を発展的にふくらませられるようなリスニング活動や自発的コミュニケーション活動も充実している。
177 増進堂	Ⅲ 319	NEW STREAM English Communication III Strategic Reading Focus Standard ○	4技能をバランスよく伸ばし、自分の考えを発表できるような活動を用意している。新しいことを学び、学んだことを深く掘り下げて考えられるような題材を選んでいる。	主に2つのセクションから成り、前半のセクションでは英文を確実に読み解くために必要なスキルを学び、後半のセクションでは学んだスキルを生かして様々な英文を学習していく。	英文の内容や要点を問うもの、リスニングによるT/F、トピックセンテンスを問うものなど問題の種類が豊富である。コミュニケーション活動を促すACTIVITYのページも充実している。	巻末に分野別HOT TOPICSがあり、題材で取り上げられた分野の背景知識や、その分野でよく使われる語句を紹介しており、興味・関心が深められる。	最初にリーディング・スキルを学び、学んだスキルを用いて4技能を伸ばしながらまとまりのある英文を学習できる。内容を理解するだけでなく、自分の意見を表現できるようにする場も取り入れている。
183 第一	Ⅲ 320	Perspective English Communication III ○	自国及び世界の文化への理解を促す題材を選んでいる。読み、聞いた内容を英語で答える問題を設けるなど、生徒が英語に触れ、英語を積極的に発する場を豊富に提供している。	順を追って語数を増やし、まとまりのある英文を読むことができるよう工夫されている。各レッスンは内容、言語材料のまとめ、内容に関する発展的活動から成っている。	脚注には内容把握とREADING SKILLの観点の問題があり、内容を正確に読み取らせる工夫がなされている。課末には聞く活動、トピックをまとめ発表する活動が毎回設けられている。	巻末にはOptional Lessonとして、原文をほぼそのまま使用した高度な英文を掲載し、学習者の学習意欲を高め、より深い知識理解を促している。	4技能を有機的に関連づけ、総合的に学習できるよう、各レッスンの題材を厳選し、言語材料の充実を図り、本文を手がかりに、それと連携した様々な活動の場を提供する構成となっている。
183 第一	Ⅲ 321	Vivid English Communication III ○	社会問題や世界で活躍する日本人など、話題性と生徒にとっての身近さを考慮した題材が多く選定されている。生徒の興味・関心を喚起し、考えさせる内容である。	各パートとも見開きであり、左ページに本文と重要箇所の英問、右ページに語や連語のまとめとReading Skillの観点からの問題が構成されている。分量も適切である。	課末のActivity Plusには、本文内容に即したリスニング問題や生徒自身の考えを書いたり発表したりする活動が設けられ、4技能を有機的に関連づけられるよう配慮されている。	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱで既習の言語材料についても復習として取り上げ、スパイラル学習によってその定着を図れるよう工夫されている。	4技能をバランスよく育成するため、設問等の指示を日本語と英語で併記したり、聞いたり読んだりした内容を英語で答える問題を多く設けるなど生徒が英語に触れ、英語を積極的に発する場を豊富に提供している。

発行者の 番号・略称	教科書 の記号 ・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
212 桐原	Ⅲ 322	PRO-VISION English Communication III ○	自他の生命や伝統と文化を尊重する精神と主体的によりよい社会を実現しようとする態度を養うために、知的好奇心を刺激したり、社会への問題意識を高めたりする題材が豊富である。	Get the Picture, Summary Chart, Make Your Commentsなど、本文を基に自分の考えを話したり書いたりする言語活動を中心とした授業が展開できるよう効果的に構成されている。	基礎的知識及び技能を確実に習得させ、適切に活用する能力を育成するため、パラグラフの構成や論理展開に着目した英文の読み方や書き方を学習するページが設けられている。	LANGUAGE RESOURCESでは、各課で学習した単語から題材のテーマに即した語彙へと広げ、語彙ネットワークを作ることで定着を図る工夫がされている。	題材は、個人の成長に資するだけでなく、個人と社会の相互補完的な関係について考える機会を設けるものが選定され、社会生活に関わる場面設定の中で4技能を総合的に育成する配慮がなされている。
212 桐原	Ⅲ 323	WORLD TREK English Communication III ○	生徒の発達段階に配慮しつつ、言語や文化に対する理解を深めるために、様々な外国の文化を紹介しており、多種多様な内容が学べるよう題材が選定されている。	8つのPreparation Unitで英文における展開のパターンに触れ、読む際のリーディングスキルを学び、その後で本課に進む構成になっており、易から難へと無理なく学習できる。	タイトルページとVisual Story Outlineにそれぞれ見開き2ページを使用し、本文の内容理解を助ける導入として、また読解後にリテリングするなどの発信活動として活用できる。	文や語のつながりを分析するDiscourse AnalysisとCommunication Taskが課のまとめとして設けられ、学習内容を整理しやすい配慮がなされている。	学習者の進捗や目的に応じて柔軟な使用が可能な構成となっており、生徒に身近な場面を数多く設定し、4技能を総合的・有機的に関連させた言語活動が自然に展開できるよう随所に工夫がある。


発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	書名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
2 東書	英 I 301	NEW FAVORITE English Expression I	言語の使用場面と働きに考慮した多様なトピックが取り上げられている。効果的な論理展開や目的に応じた表現方法を習得し、実際に活用できるよう工夫がなされている。	5つのUnitに分かれており、Unit1では自己紹介や短いスピーチ、そしてUnit5ではプレゼンテーションやディスカッションなど段階的に学習できる構成になっている。	各Lessonの例文やExerciseでは、モデル文と関連した表現を使用し、On Your Ownで、生徒がモデルに沿った自己表現活動に、積極的に取り組むことができるように工夫されている。	見開き2ページで各Lessonが構成されており、まとまりがよく分量も適当である。巻末のExpression Resourcesは英文を書くときに活用できる。	モデル文は、対話やメール、新聞、実況中継などがあり、場面や目的に応じて伝えたいことを書くことで、的確に伝える表現力や自ら発信できるコミュニケーション能力を養えるように工夫がなされている。
9 開隆堂	英 I 319	EXPRESSWAYS English Expression I	異文化理解、学校生活、スポーツ、伝統文化、映画、芸術、慈善活動など幅広い分野から生徒の興味・関心に即し学習意欲を喚起する題材が精選されている。	身近なことを表現するpart1、表現の幅を広げるpart2、自分の言葉で表現するpart3の3部構成で、19のUnitから成る。各Unit末には、より実践的な自己表現活動が配置されている。	part1全てとpart2の半分は、本文が音声とイラストによるもので、「聞いて話す」「読んで書く」など、統合的で様々な言語活動が行いやすいよう工夫されている。	How to Say Itでは、道案内、旅行、食事、買い物など使用場面に特化した言語活動を段階的に行うことができるよう編集されている。	身近な題材や取り組みやすい言語活動を通して意欲的な自己表現につながるように工夫されている。また、それぞれの活動がコミュニケーションの必然性や妥当性を踏まえて実践的なものとなるよう配慮されている。
15 三省堂	英 I 320	SELECT English Expression I	英語表現のための基礎・基本の確実な習得のためにスポーツ、自然科学、異文化、ことば、職業、伝統文化など幅広いテーマから現代社会への関心を高められる題材が精選されている。	各課見開きで構成されており、基礎・基本・実用性の観点から精選された言語材料が、テーマに沿った会話表現、リスニング問題、練習問題を通じて学習できるよう配置されている。	精選されたキーセンテンスが豊富なイラストで表され、文法の特徴を視覚的に理解し、記憶に残す工夫が豊富である。更に、定着・補強させるための問題が充実している。	巻頭では中学の復習が、巻末では各課の復習や発展学習ができる。また、接続詞に焦点を当て、豊かな表現の育成を図れるよう編集されている。	生徒がことばや社会への視野を広げ、実用的な発信型の英語表現を楽しみながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養えるようになっている。
15 三省堂	英 I 302	CROWN English Expression I	言葉の教育、国際理解教育、人間教育を基本とし、各Lessonのトピックは、人物、環境、文化など、生徒の知性や感性を考慮した多様な内容となっている。程度はやや高い。	2部構成で、ライティングを扱うLessonでは短い文を書く練習、スピーチを扱うSpeakingでは、意見を述べる練習ができ、言語活動が総合的に行われるように配慮されている。	Speakingでは、InputからOutputにつながるよう段階を踏んだ構成になっている。学んだ文法事項を復習したり、推敲のヒントを与えたりするGrammar Profileが設けられている。	各Lessonの、導入の英文に対するTrue or Falseと、文法事項の確認問題が音声で行えるように工夫されており、4技能の有機的な関連が図られている。	「書く」「話す」のに必要な思考力の養成だけでなく、実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割を重視し、言語の使用場面の明確化と言葉の働きに留意しており、創造的な言語活動を行うことができる。

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
15 三省堂	英 I 303	MY WAY English Expression I	生徒が自分の力で考えをまとめることができるような、幅広い内容のトピックを用いている。英語の基礎的な力を身に付けることを目指している。程度は普通である。	導入のGet ready!では中学校の復習ができる。レッスンは5つのユニットで構成され、まとめや発展的な活動ができるReview ExercisesとProject Workが各ユニットに配置されている。	各レッスンの文法事項とトピックは一貫したものになっており、レッスンのまとめとして、生徒が自己表現活動に意欲的に取り組めるような工夫がなされている。	Project Workでは、読んだり聞いたりした情報をまとめ、メモやメール等、異なった形にして再発信する活動に取り組むことができる。	使用されている語は中学校の既習語が中心であり、連語も基本的なものが選択されている。また、英語の基礎力の向上と、短く平易な英語で情報や自分の意向を表現することを主眼としている。
17 教出	英 I 304	New ONE WORLD Expressions I	語句や文構造、文法事項などを定着・活用するための練習問題だけでなく、自分で話したり書いたりする自己表現活動も各課に設けられている。程度は普通である。	Model Dialogue、Model Passageでの文法事項を、ペアでの会話練習や練習問題、まとめとして自分で話したり書いたりする活動へと展開できる構成になっている。	各課のまとめとなる表現活動につながるよう、練習問題の難易度に工夫がされている。また、表現活動は実際の言語の使用場面に近いものが、随所に取り上げられている。	話したり書いたりするときに使える便利な表現をUseful Phrasesで、また、英語らしい発音のポイントをSound Cornerで紹介している。	文法や文構造は学びやすいように易から難へと配置されている。学習したことを活用し、自分で発信の内容を考え、書いたり話したりするという統合的な活動が、Taskとして3カ所に配置されている。
19 開拓	英 I 305	MONUMENT English Expression I	自らの経験に基づいた意見や考えを表現できるように工夫されている。話すこと、書くことをバランスよく学習できるように編集されている。程度は普通である。	PART1では日常生活、PART2では社会生活、PART3では地球環境に関する表現を学習する。各課の前半では会話表現、後半では文構造を含む表現を学習できる構成になっている。	話す活動が中心になっている各課の前半では、即興で簡単な事柄を話す、日本語を英語にしながら会話をする、自分の考えを口頭で表現するというように、段階的に取り組める。	巻末には、各課のテーマに関連した語句や表現、数字の読み方や色などの付録がまとめられており、言語活動に取り組む際に役立てることができる。	内容と分量が豊富であり、各課を前半と後半に分けることにより「話し言葉」と「書き言葉」による表現を効率よく学ぶことができる構成になっている。ペアワークなどの言語活動も充実している。
50 大修館	英 I 306	Departure English Expression I	4技能のバランスに配慮し、英語力を総合的に培うことだけでなく、自国の文化を世界に発信できるようにすると同時に、異文化理解教育に役立てることを目指している。	各課ともモデル文や例文の提示、様々な英語表現活動で構成されており、まとめとして50から100字程度の文を書いたり、ペアやグループで話したりする活動が配置されている。	Get Ready to Express yourself、Get Ready to Writeなど、ステップを踏みながら難易度を上げ、英語で話したり書いたりする表現活動に取り組めるよう工夫されている。	絵や写真を見て状況を説明したり、場面設定に応じ工夫して表現するなど、実際のコミュニケーションを想定した活動に取り組むことができる。	読んだり聞いたり、あるいは調べ学習をした後で、それらの情報をもとに話したり書いたりする言語活動が、学習者の理解に役立つよう、具体的な手順を示しながら豊富に組み込まれている。



発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
61 啓林館	英 I 307	Vision Quest English Expression I Advanced	話題の内容は様々で生徒の興味を引くものが選ばれている。情報や考えを発信する機会を与えるだけでなく、英語の基礎力を養うことも大切であると考えて、構成されている。	各課にTopic, Pronunciation, Function, Grammarの4つの要素が適切に配置されている。巻末のActivityでは、学んだことを活用できるペアなどでの言語活動が用意されている。	学んだ内容を駆使して情報や考えを発信する機会が数多く設けられている。また、段階を踏んで文の作成から文章の作成へと進んでいけるように配慮されている。	積極的に英語を使ってみようという意欲を育てるために、Model Conversationは日本の高校生と外国人留学生による会話形式になっている。	つなぎ言葉やパラグラフについて学ぶページが設けられており、論理的に英文を読み書きする力をつけることができる。また、巻末の付録や付表が充実しており、生徒が英文を作成するのに役立つ。
61 啓林館	英 I 308	Vision Quest English Expression I Standard	学校、家庭、社会における様々な話題をTopicとして設定している。英語の発音、表現、文法も同時に学べる内容である。アメリカ英語を主体とした標準的な現代英語で書かれている。	12課から成り、Model Conversation, Listening Task, Pronunciation, Function, Grammar, Use it, Expressing, Activityと進み、発信的活動が行える。	学んだ語句、表現等を駆使して、情報や考えを発信する機会が多く設けられている。単語やフレーズが40のトピックに分けてまとめられており、豊かな表現活動ができる。	付録として文法の基本的ルールがまとめられている。また、日本語と英語の両方で調べることができる索引もあり、自分で調べながら学習できる。	写真、イラスト、図を適所に入れ、視覚的に理解しやすく、題材に対する興味を引く紙面構成にするなど工夫されており、英語の基礎力を養う配慮がなされている。内容の程度及び分量も適切である。
104 数研	英 I 309	POLESTAR English Expression I	基本的表現を使いこなせるように、重要事項はすべて使用場面が設定された対話文の中で示されている。自然な英文が書けて、話せるように、文脈のある模範的な英文が示されている。	24課から成り、1課は4ページで構成されている。3～4ページ目には、即興で話す活動など様々な表現活動が用意されており、情報や考えなどを伝える力を養える。	コミュニケーション活動の機会が十分とれるように各課の1ページ目にペアワークがある。英語による授業を円滑に進められるように、問題指示文等はなるべく英語を使用している。	REVIEWが1～6まで用意され、各課の復習と併せて発展的な活動ができる。和英表現集、表現索引(英和)があり、表現活動の際に活用できる。	多様な言語活動を通して、基本的な言語規則を、自然な使用場面の中で習得することができる。写真やイラストを多数挿入し、視覚的に理解が容易になるように配慮されている。内容の程度及び分量も適切である。
104 数研	英 I 310	BIG DIPPER English Expression I	学習者が日常的な話題を通じて人間性や社会性を育むことができ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる内容になるよう配慮されている。	英語の基本的なルールを学習するパート1と言語の働きを意識してコミュニケーションを図る力を育成するパート2から構成されている。2つのパートで合計40レッスンから成る。	問題演習の指示文は極力英語を用いている。パート1レッスン1～3では、基礎の基礎を学ぶことができる。Further Activitiesでは、各課に関連した発展的な言語活動ができる。	本課5レッスンごとにコラムを掲載し、文章の作成や発表について留意点をまとめている。Words & Phrasesがあり、身近な語彙を増やすことができる。	学習者間の相互交流を意識した言語活動を多く設け、学習者中心の授業展開ができるように工夫されている。学習者の実生活に即応したバラエティに富んだ言語材料などが用意され、程度及び分量も適切である。

発行者の 番号・略称	教科書 の記号 ・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
109 文英堂	英 I 311	UNICORN English Expression 1	日常生活、文化、科学、スポーツ、環境保護など広く各部門から内容を選び、それらについて英語で表現し、積極的にコミュニケーションを図るように配慮されている。	動詞を中心に学習するUNIT1、いろいろな表現を身につけるUNIT2、学習者の定着度に合わせたOPTIONAL UNITのUNIT3から構成されている。UNIT1～3で合計20レッスンから成る。	UNIT2は、BASIC EXPRESSION (基本編)、A STEP FORWARD (発展編)、EXPRESS YOURSELF (応用編) から成り、段階を追って様々な表現を身に付けることができる。	巻末にLANGUAGE FOCUS、動詞別表現集、機能別表現集、トピック別表現集が用意されている。付録BUILD UPでは、語彙や表現の拡充ができる。	英語を通じてのコミュニケーション能力を養成するため、随所にリスニングやスピーキングの機会を設けている。論理展開例を示し、理解させ、練習させる場も設けている。内容の程度及び分量も適切である。
109 文英堂	英 I 312	Grove English Expression I	学習者に身近な題材を取り上げ、自分の身の回りのことについて情報や考えなどを論理的に、様々な方法を工夫しながら伝える能力の向上を図ることを目指している。	WARM-UP、UNIT 1 (基礎編)、UNIT 2 (発展編)、SUPPLEMENTARY PRACTICE (応用編) から構成されている。UNIT 1～2は20レッスンから成り、各課2つの文構造・文法を扱う。	HOW TO MAKE A SPEECH, PICTURE DICTIONARY, E-mail Communicationでは、スピーチの練習、イラストを使っている表現練習ができ、メールの書き方などを学ぶことができる。	巻末には、文法のまとめ、句読法、Eメールの形式、単語集、イディオム・表現リストなどが用意され、表現力を更に伸ばすための工夫がされている。	各課にスピーキングやライティングの機会を設け、また、4技能を総合的に学べるスピーチに特化したページもあり、コミュニケーション能力を育成するための配慮がなされている。程度及び分量も適切である。
177 増進堂	英 I 313	MAINSTREAM English Expression I	学習者が様々な話題について学ぶことができるように、バランスよく話題を選択している。身近な日常生活、学校、地域・社会、世界と範囲を広げるように配慮されている。	4つのパートで構成されており、全体で18レッスンある。Part 1では高校の学習に慣れるための基本的な内容、Part 2、3では高校の学習内容、Part 4では発展的な内容を学習する。	コミュニケーションを図る必然性のある状況を設定し、動機付けを高める活動を用意している。最終的にはきちんとした文章を書くことを目指し、表現するための英文法を学べる。	Word Bank, Expressions to learn, Glossaryなどの欄を設け、様々な話題を扱うために必要な語彙・表現を提示し、言語活動の補助としている。	学習したことを使えるような練習が用意され、考えたり表現したりできるとともに、聞くこと、読むことと関連させて指導できるように配慮されている。内容の程度及び分量も適切である。
183 第一	英 I 314	Perspective English Expression I	学習者に身近なもの、知的で確かな教養となるもの、豊かな思考力や想像力を育むもの、我が国及び世界の文化への理解を促すものなどを中心に選定されている。	24のレッスンがあり、各課2つのStageで構成されている。Stage 1は文法を柱として、Stage 2は言語の働きを柱として展開されているが、共通のトピックで統一されている。	設問等の指示を英語で示したり、英語で表現する問題を多く設けたりすることにより、学習者が英語に触れ、英語を積極的に使用する場面を豊富に提供する工夫がなされている。	巻末にはSounds, Public Communication, Paragraph Writing, Words and Phrases for Topicsが用意され、発展的な表現活動ができるようになっている。	聞くこと、読むことから始まり、話す、書くというoutput活動へと展開され、言語材料面での充実も図られており、4領域が統合的に育成されるように工夫されている。内容の程度及び分量も適切である。

発行者の 番号・略称	教科書 の記号 ・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
183 第一	英 I 315	Vivid English Expression I 	学校生活・趣味・ファッションなど生徒の日常生活にちなんだ題材が生徒の興味・関心に合うよう取り上げられている。基礎的な表現力を定着させられるよう工夫されている。	Get Readyと22のレッスン・5つのFor Communication・Further Activitiesから構成されている。文法事項を練習した上でアウトプットできるよう工夫されている。	各課とも2ページ構成で、右ページは目標とする学習事項の確認、左ページは練習問題で定着度を確認して自己表現練習へと発展していけるよう無理のない配列である。	設問の指示が日本語と英語で併記されたり、聞いた内容に英語で答える問題が設けられていたり、生徒が英語に触れる機会がたくさんある。	英語による基礎的な表現力とコミュニケーション能力を養うために、中学校で学んだ言語材料を取り上げて定着を図り、英語を積極的に用いる場が設けられている。内容の程度及び分量とも適切である。
205 三友	英 I 317	COSMOS English Course 英語表現 I	学校・地域・日本と国際社会などを題材にして、生徒自身の「生きる力」に結びつくよう配列されている。一定のまとまった考えを伝える能力を養うよう工夫されている。	全体は3つのパートから構成されており、「人とつながる」「社会とつながる」「世界とつながる」と題材は身近なものから徐々に広げていけるように配列されている。	Warm-upは日本語との比較や対照を通して外国語の理解や認識を深められるよう練習問題が工夫されている。即興で話したりShow&Tellやプレゼンテーションも経験できる。	各課とも「聞く」「読む」活動で始め、「書く」「話す」活動につながるよう工夫されており積極的にコミュニケーションを図る態度が養える。	一定にまとまった情報や考えを伝えるために、時系列でまとめることや、原因と結果の表現方法を知ること、意見や理由のまとめ方を学べるようになっていく。内容の程度及び分量とも適切である。
220 スクリ	英 I 318	SCREENPLAY English Expression I	映画や読み物を題材にして、実際の使用場面や働きを身に付け、コミュニケーション能力を養えるよう工夫されている。日本の文化と外国の文化も知って幅広く知識が身に付く。	STEPS, SCENES, TOPICSの3つで構成されており、基本的な言語活動からまとまりのある文章を書くことまで、4技能を活用しながら段階的に学習できるよう配列されている。	「話す」「書く」活動に必要な文法学習に重点が置かれ、それらがTarget Sentencesとしてまとめられている。身に付けた言語活動をアウトプットするのに最適な活動である。	STEPSの中で、イラストを見ながらその状況を英語で説明する活動が含まれている。自分の考えを正確に伝えるための言語活動として役に立つ。	映画のスク립トや歌を用いて学習者に興味・関心を持たせて取り組みやすくなっている。また生きた英語に触れ場面や目的に応じた表現活動ができるよう工夫されている。内容の程度及び分量とも適切である。
226 チアーズ	英 I 321	ATLANTIS English Expression I	日常生活や身近な話題、文化の違いや童話など生徒の学習意欲を高める題材が精選されており、どの学習段階の生徒も自然にコミュニケーションできるよう工夫されている。	各課ごとに一つの文法ポイントを自然で分かりやすい例文で示し、選択肢の中から解答可能な練習問題から会話やショートストーリーへと段階的に易から難へと配列されている。	各課の始めには日本語訳付きの単語リストが、また巻末には発音の仕方や音の変化の解説が配置され、音声語によるコミュニケーションがスムーズに行えるよう配慮されている。	生徒が、コミュニケーションのための文法を自然な文脈の中でどのように使うのか理解できるよう、イラストや写真を効果的に配置している。	指示文は全て日本語であるが、生徒の興味・関心を高める言語材料や多様な活動が多く配置されており、写真やイラストとともに楽しく学びながら英語の運用能力を高めることが実感できるよう工夫されている。

発行者の 番号・略称	教科書の 記号 ・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
2 東書	英 II 301	NEW FAVORITE English Expression II	文法事項の取り上げ方が適切で、中学校の既習事項も含め、英語で表現するために必要な文法事項を全レッスンにわたって学習できるようにになっている。	全体が5つのUnitから成り、段階的に配置されている。分量も、標準単位数で適度に指導できるよう配慮されている。Targetを中心に、反復練習を行いながら効率的に学習できる。	各Unitの最後には、Communication Workshop、Expression Workshopが1つずつあり、授業の進度に合わせて取捨選択できるように配慮されている。	巻末のFocus Plusやコラム「英語表現のココロ」では、文法事項のイメージやニュアンスが易しく解説されており、生徒が学習しやすい内容である。	生徒の実態と現状に合わせて無理なく授業が進められる。巻末資料のExpression Resourcesは、各レッスンのトピックに応じた単語や熟語、例文が充実しており、生徒が「表現」する意欲を高めるのに適している。
15 三省堂	英 II 302	CROWN English Expression II	科学技術、環境問題、経済・ビジネス、生態系、日本の地方、健康・医療、漫画、観光・地理、食文化など、生徒の興味や関心を喚起する多様な内容を扱っている。程度はやや高い。	Part1では、基本的な文法を誤りなく書くことを学び、続いてPart2では、与えられたテーマについてまとまりのある文章を書くことを学ぶ。基礎から応用へと段階的に進んで行ける。	Speakingでは、スピーチやプレゼンテーションの型を学び、自力で原稿をまとめ、最終的にスピーチやプレゼンテーション活動を行うまでの筋道が示されており、表現力向上に役立つ。	Writingの設問が、空所補充、整序、部分英訳という出題形式で統一されているため、学習がしやすい。各課の最後のTRYは、自由英作文の課題にもなる。	モデル文や例文、練習問題には、実際に日常生活で用いられる現実的な英文が用いられており、書くためのモデルとして適切である。
15 三省堂	英 II 303	MY WAY English Expression II	題材内容の設定を工夫し、内容が無味乾燥な文法の例文の羅列になることを避けている。高校生が書きやすく話しやすい題材を選び、学習意欲の向上を図っている。	文法や重要構文を学習するPart1、パラグラフ・ライティングを学習するPart2、ディスカッション、ディベートを学習するPart3の3つの部分から構成されている。	導入にリスニング活動、途中に短いタスクやリーディング活動などを取り入れ、文法の指導にも変化をつけることができるよう工夫されている。	各UnitにProject Workが設けられており、プレゼンテーションの方法だけでなく、発表された内容に対する質問の仕方なども学べるようになっている。	表現する際に必要となる英文法を、より発展的に学習できる。ある程度まとまりのあるパラグラフを書く活動や、自分の考えをまとめて発表する活動を取り入れており、表現力の向上に役立つ。
17 教出	英 II 304	New ONE WORLD Expressions II	文法や文構造は、英語表現Ⅰで扱ったものに加え、実際のコミュニケーションに必要な運用度の高いものが精選されており、易から難へと段階的に定着できるように配慮されている。	Unit1が16課、Unit2が17課、Unit3が5課で構成されている。Ready、Set、Goなど、多様な形式の練習問題や言語活動が豊富に用意されており、段階的な定着が期待できる。	Sound Cornerは、より高度な英語の音声的特徴や、実地的な発音の注意点をまとめており、主に読む活動に取り組みやすくなるように配慮されている。	Useful Phrasesでは日常会話で知っておくことのできる。また、モデル文の内容を確認するためのリスニング問題も付いている。	生徒が、情報や考えなどを理解したり伝えたりする際に必要な文法や文構造を一層定着させ、それを具体的な使用場面で活用するための表現力を養えるよう編集されている。

発行者の 番号・略称	教科書 の記号 ・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
50 大修館	英 II 306	Departure English Expression II ○	語彙数は生徒の負担にならない程度を心がけている。課が進むにつれ英語で表現する語数が徐々に増えていくので、無理のない英語力向上が期待できる。	4技能のバランスに配慮して、生徒の英語力を総合的に培うことを目指している。読む・聞くの活動の後で、話す・書くの活動を豊富に組み込んでいる。	Debateの実施を容易にできるよう、巻末に「進行表」を用意している。また、表現力や語彙力の伸長を図るため、Vocabulary Boardが用意されている。	学習の効率を高めるための補助教材が充実している。巻末にPunctuationが示されており、文章作成時に生徒の支えとなる。	イラスト・図表を豊富に取り入れ、様々な形式のソースから情報を読み取って表現するという活動を用意しているため、実際の場面を想定したコミュニケーション力が身に付く。
61 啓林館	英 II 307	Vision Quest English Expression II ○	Expressionsには、英語表現Ⅰの復習も含まれており、基礎力の定着が図れる。Exercisesでは、和文英訳問題が5題扱われており、応用力が身に付く。	Part1は「動詞を決める」などのセクションから成り、英文を作る際の発想と手順がそのままレッスンの順になっており、英作活動につながる。	Activity for Communicationでは、ストーリーテリング、数の聞き取り、ブログの作成、グラフの読み取りなど4技能が有機的につながる工夫が見られる。	巻末のWords & Phrasesには、自己表現活動に使える単語やフレーズが多数掲載されている。巻末GOAL!の作文例は生徒に分かりやすい。	内容と分量が豊富であり、ペアワークなどの言語活動が充実している。Activity for Communicationの問題指示文は全て英語となっており、英語で授業が行えるようになっている。
104 数研	英 II 308	POLESTAR English Expression II ○	表現を実際の場面で使いこなせるよう、さまざまな言語の使用場面を設定している。言語材料は、それらの使用場面・文脈と結びついた自然な形で提示されている。	Part1(文法の総復習)～Part4(自由英作文)まで4つのPartで構成されており、順を追ってまとまった量の英文を書ける(話せる)ように構成されている。	Part1、Part2では各課の最初にペアワークがあり、コミュニケーション活動ができる。情報や考えをまとめて伝えることができるように、即興で簡潔に話す活動も取り扱っている。	REVIEWが備えられており、効果的な復習ができる。巻末にトピック別語彙リスト、表現索引(英和)があり、語彙や表現を増やすことができる。	多様な言語活動を通し、4技能をバランスよく使いながら言語規則を習得させることができる。写真や絵を多数挿入し、学習者の興味・関心を高めることができる。内容の程度及び分量も適切である。
104 数研	英 II 309	BIG DIPPER English Expression II ○	日常生活に即応したバラエティに富んだ内容である。「書く」「話す」「読む」「聞く」を有機的に関連させる演習を随所に設け、学習者が幅広い活動に取り組むことができる。	3つのPartから成り立っており、基本例文の定着から、機能表現、関連表現の習得、発展的言語活動を目指させるドリル、アクティビティが配置されている。	Part1ではリスニング問題から自己表現練習まで、多彩な練習を取り入れている。Part2では機能表現を更に活用し、email・手紙でのコミュニケーションも扱っている。	4～5レッスンごとにコラムを掲載し、段落構成や語彙、音声などの留意点を扱っている。巻末のUSEFUL EXPRESSIONSでは効果的に例文の復習ができる。	日常的な話題を通じて、英語の運用能力や論理的思考力を養うことができる。実生活に即応したバラエティに富んだ内容で、学習者の興味・関心を高めることができる。内容の程度及び分量も適切である。

発行者の 番号・略称	教科書の 記号 ・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
109 文英堂	英Ⅱ 310	UNICORN English Expression 2	様々な英文形式を用いて他者とのコミュニケーションをとる力の養成を目標に構成されている。日常生活から、言語や環境問題に至るまで幅広い内容を多様な観点から取り上げている。	UNIT 1～UNIT 3とAPPENDIXで構成されており、パラグラフパターンの確認、トピックに関連した文の作成を経て、最後にまとまった長さの文が書けるように構成されている。	UNIT 1では典型的なパラグラフパターンの定着、UNIT 2では機能表現や文法、語彙の習得とともに話題に関連した文を書くことを目標とし、モデル文、Exercisesが充実している。	2、3課ごとにUNICORN INFOとしてスピーチ、プレゼンテーション、ディスカッションなどの概要と進め方を掲載しており、効果的に学習できる。	日常生活に密着した題材を始め、幅広い題材を取り扱い、それぞれの題材について表現する方法を学習する。最終的には論理立てて表現する能力を養うことを目標としている。内容の程度及び分量も適切である。
109 文英堂	英Ⅱ 311	Grove English Expression II	身近な題材から世界を広げ、様々な事柄について情報や考えなどを伝える能力を向上させるために、スピーキング、ライティングの機会が数多く設けられている。	全18課を6つのSECTIONに分け、それぞれのSECTIONに目標を設定し、段階的に様々な言語活動を行うことができる。イラストを用いたコミュニケーション活動が充実している。	各課がSCENE 1、SCENE 2に分かれており、SCENE 1ではイラストを用いたオーラルコミュニケーション活動を行い、SCENE 2では文構造・文法事項の確認ができる。	MEET THE WORLDでは、各課一つの国を取り上げ、各国の文化を学ぶことができる。また、メッセージを使用したパラグラフの書き方も学習できる。	英語を通じての積極的なコミュニケーション活動を目指し、スピーキング、ライティングの活動が豊富に設けられている。また、ディスカッションなどの活動も充実している。内容の程度及び分量も適切である。
177 増進堂	英Ⅱ 312	MAINSTREAM English Expression II	日常生活、学校生活、地域・社会や世界の問題など幅広い問題を扱い、それぞれに必要な語彙・表現を提示し、音声を重視する活動から文字を重視する活動へつなげていく構成である。	6つのPartから成り立っており、Part 1-4ではスピーチやディスカッションに加えてライティング活動を行い、Part 5-6ではエッセイや創造的な英文を書くことを目指している。	Part 1-4ではライティング活動に加えて、導入でリスニング活動を取り入れ、「書く」「話す」の活動を十分に行えるだけのインプット、アウトプットの量を確保している。	本文の脚注にはNotes、Glossaryをつけ、巻末にはWords to learn、Expressions to learnといった欄を設けてあり、言語活動の補助に役立つ。	知る→考える→表現するという手順を踏まえ、学習したことを学習者自身が使える練習が用意されている。話すこと、書くことを、聞くこと、読むことに関連されて学習できる。内容の程度及び分量も適切である。
183 第一	英Ⅱ 313	Perspective English Expression II	自国及び、世界の文化への理解を促すような素材を扱っている。指示を英語で示し、英語で表現する問題を多く取り入れ、英語を積極的に使用する場を多く設けている。	文法と概念別表現を扱うUnit 1、パラグラフライティングを扱うUnit 2、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートを扱うUnit 3から構成されている。	Unit 1はそれぞれ2つのStageに分かれており、Stage 1はリスニングと文法学習、Stage 2は情報の読み取りと概念別学習の構成となっており、4技能を関連させて学習できる。	Unit 1には3つのReviewがあり、既習事項を効果的に復習できる。また、Words and Phrases for Topicsは語彙力の増強に役立つ。	各レッスンにおいて様々な活動の場を設け、4技能を有機的に関連付けて学習できる。学習者が英語に触れ、英語を積極的に使用する場を豊富に提供している。内容の程度及び分量も適切である。

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
183 第一	英Ⅱ 314	Vivid English ExpressionⅡ	生徒の日常的な話題を題材に、事実や意見などの表現を工夫して伝えることを目標に構成されている。英語で答える問題を豊富に設けるなど、英語に触れる機会を多くしている。	英語表現Ⅰの内容に準じたUnit 1、機能的な内容を扱うUnit 2、パラグラフライティングを扱うUnit 3、スピーチ、ディベートなど実践的事項を扱うUnit 4から構成されている。	Unit 1, 2は各課2ページ構成で、目標とする学習事項の提示と理解、学習した項目を運用して表現する活動を配置し、英語によるコミュニケーション能力の向上を図っている。	For Communicationのコーナーでは英語特有の言語の使用場面と言語の働きを学ぶことができる。巻末の文法の整理で、既習事項の確認ができる。	4技能を総合的に学習できるよう豊富な活動の場が提供されている。英語による表現力とコミュニケーション能力の定着のために基本的な言語材料も取り上げている。内容の程度及び分量も適切である。
220 スクリ	英Ⅱ 315	SCREENPLAY English ExpressionⅡ	映画を題材に、実際の使用場面や働きを身に付け、コミュニケーション能力を養えるよう工夫されている。生徒にとって身近なものから社会的・文化的な内容まで選定されている。	2ユニットごとに一つの映画を使用し、楽しみながら学習できるよう配慮されている。ユニットの終わりに文法事項を整理し、2ユニットごとに様々な言語活動が用意されている。	各ユニットはWarm Up、Hop、Step、Jumpで構成されており、段階的に学習できるよう配慮されている。全体を通じて体系的に英語表現を身に付けられるよう工夫されている。	ディベート、プレゼンテーション等のスピーチ活動に役立つ表現をまとめたコーナーを設けてある。また、各活動のポイントがまとめられている。	映画のスク립トを用いて学習者に興味・関心を持たせて効果的に学習できる。また生きた英語に触れ場面や目的に応じた表現活動ができるよう工夫されている。内容の程度及び分量とも適切である。
226 チアーズ	英Ⅱ 316	ATLANTIS English ExpressionⅡ	各課で日常生活に即した場面設定がなされており、自然な会話等に触れながら生徒が興味・関心を持って学習に取り組むことができるよう配慮されている。内容の程度も適切である。	各課ごとに一つの明確な文法ポイントに焦点を当て、シンプルでありながら多様な解答ができる練習問題から会話やショートストーリーへと易から難へ段階的に配列されている。	全ての課において、生徒がペアになって練習する活動が設定されており、習熟度が違っていても、コミュニケーション活動を通して共に学び合える配慮がなされている。	生徒に英語を学ぶことに対する刺激を与え、文化の違いを分かりやすく理解させるために、カラフルで美しい写真が数多く使用されている。	ペア活動や数多くの自然な英語の質問、また練習問題の指示や説明を通して、社会に出た後役立つ学習能力の習得を目的として、コミュニケーションの取り方を生徒に身に付けさせるよう工夫されている。

発行者の 番号・略称	教科書の 記号 ・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
2 東書	英 会 301	Hello there! English Conversation ○	家庭・学校・社会における身近な題材を、基本的な表現を使って会話する能力を段階的につけていけるよう工夫されている。さまざまなコミュニケーション活動が取り入れられている。	全体が5つのユニットに分かれており、各ユニットは2つのレッスンとListen Up, Sakura's Adventure Episodeから構成されており、自律的学習や協働学習がしやすい。	生徒が場面設定を理解しやすく、楽しく学習できるよう工夫されている。「聞く」「話す」活動をメインにして実践的なコミュニケーション活動が行えるよう配慮されている。	対話文は自然な文脈の中で学習できるよう工夫されている。内容を予想して聞いたりディクテーションを行ったりと様々な活動ができる。	題材は対話形式が中心であるが、自分の考えを相手に伝えることができるようにするためにある程度のまとまりを持った英語で練習する機会も用意されている。内容の程度及び分量も適切である。
15 三省堂	英 会 302	SELECT English Conversation ○	生徒の日常生活に身近なあいさつ・道案内・天気・買い物といった日常会話から、将来の夢や余暇の過ごし方について自分の意見を発表するものまで取り上げられている。	13レッスンからできており、各レッスンはKEY EXPRESSIONS, LISTENING, COMMUNICATIONで構成されている。インタビュー活動やロールプレイングも取り入れられている。	言語の使用場面が具体的に示され、「聞く」「話す」活動を中心とした4技能の活動が有機的に関連付けられている。対話を中心に様々な活動が用意されている。	言語の働きに留意し中学校での学習を踏まえながら基本的な会話表現を系統的に学習できる。日常生活に役立つ英語を無理なく習得できる。	身近なことについて英語で聞き、話す能力を身に付けることを目標として全体が構成されている。活発で多様なコミュニケーションを展開できるよう配慮されている。内容の程度及び分量も適切である。
61 啓林館	英 会 303	Sailing English Conversation ○	生徒のコミュニケーションの目的や興味・関心に合った場面や話題が扱われており、異文化を理解し尊重する態度を養えるよう工夫されている。易から難へと徐々に移行していく。	3つのユニットからできている。ユニット1はWarm up、ユニット2では様々な場面を通して4技能を有機的に使えるよう工夫されており、ユニット3ではその演習が行える。	オープニングで導入や動機付けがうまくなされ、リスニング演習やスピーキング演習も徐々に難易度をあげながらたくさん練習できる。音声に関する演習が充実している。	写真・イラスト・グラフなどをカラフルに豊富に取り入れられている。楽しく英語学習ができるよう工夫されている。扱われている英語も標準的である。	楽しみながら学習できる話題が配置され、コミュニケーションの目的や興味・関心に合った話題や場面が集められ、幅広いコミュニケーション活動の機会が提供されている。内容の程度及び分量も適切である。
109 文英堂	英 会 304	My Passport English Conversation ○	基本的な会話表現を定着させ、自由に会話や発表ができるように配列されている。異文化にも触れ積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養成できるよう工夫されている。	10レッスンから構成されている。各レッスンはTALK IT OUT, LISTEN UP, TRY IT OUTからできており、各レッスンの後にCULTURE TALKが配置され、様々な場面練習ができる。	楽しく学習できるよう紙面もカラフルである。重要表現を自分の言葉に置き換えて会話を作成するという応用力の養成もスムーズに行えるよう工夫されている。	各課にあるOne-point Cornerでは、音声上のポイントが一項目ずつ取り上げられており、練習問題や丁寧な解説がついていて役に立つ。	様々な形式のリスニング問題が配置されており、リスニング能力の向上に有効である。海外にも広く関心が寄せられるような内容や活動が取り入れられており内容の程度及び分量も適切である。



発行者の	教科書の記号・番号	書名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・分量	C 内容の取扱い・使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
2 東書	家基 301	家庭基礎 自立・共生・創造 ○	持続可能な社会をつくる暮らしの担い手になることを目標として、主体的に生きる能力と態度を育てるための学習内容が精選され、その程度も適切である。	学習の目的が分かりやすい構成となっている。家族・社会との共生、生活の自立、生活の創造を目指し生活を主体的に営むことができる力を育てるよう配慮されている。	分かりやすいデータ、写真などが豊富であり、現代の社会の流れが同時に理解できるような資料も多い。色使いの工夫により、興味を持って学習できるよう配慮されている。	学習内容の目的が明記され、「TRY」「ホームプロジェクト」などにより、問題解決能力を身に付け、学習内容を深めることができるよう配慮されている。	自分自身の将来を見据え、必要な力が何かという観点で構成されており、「人として生きる」「環境を考える」「生活を営む」ことの大切さを理解させ、豊かに生きる力を身に付けることができるよう配慮されている。
6 教図	家基 302	家庭基礎 ともに生きる 明日をつくる ○	共生社会について考え、環境への意識を持ちながら自分自身の生き方を考えることができるよう学習内容が精選され、その程度も適切である。	「Iともに生きる」「II明日をつくる」という2部構成とし、それぞれ共生社会、環境についての単元を加え、将来の生活スタイルを考えることができるよう工夫されている。	問いかける形式の表題により、自分の問題として捉え、中学校までに学んだ知識や技術をさらに深め、問題解決能力を身に付けさせることができるよう工夫されている。	「KEYWORD」により、学習のポイントを押さえ、「TRY」「考えてみよう」等により学習の発展ができるよう工夫されている。	社会と生活環境のつながりを見つめながら、一生を見通し、生活を豊かにする基本的な力を身に付けることができるよう配慮されている。
6 教図	家基 303	最新 家庭基礎 生活を科学する	社会や生活環境とのつながりを考えながら、自分自身の生き方や人生に対する価値観を養うために必要な知識や技術を学習できるよう工夫され、その程度も適切である。	第1章で人の一生について家族・福祉の視点から考え、第2章、第3章でそのために必要な生活的自立、経済的自立を考える配列となっており分量も適切である。	図表や写真を効果的に使い、日常生活を科学的な目で捉え、「暮らしの科学」「実験」「実習」等から客観的な見方や考察ができるよう工夫されている。	「コラム」「ワーク」「考えてみよう」などにより、豊富な情報を提供し考える力を身に付けることができるよう工夫されている。	共生社会、環境に配慮した生活に重点を置き、必要な知識、技術を習得できるよう工夫されており、科学的な視点から課題研究などの発展学習ができるように配慮されている。
7 実教	家基 304	家庭基礎 パートナーシップ でつくる未来 ○	人との関わりの中で、自分の生活を模索しながらデザインし自立していく力を身に付けるための学習内容が精選され、その程度も適切である。	「人とかかわって生きる」「生活をつくる」「消費者として自立する」という3章からなり、環境問題を重視しながら学習できるよう配列され、分量も適切である。	図表やグラフを随所に取り入れ、文章の字体や色を変えポイントを分かりやすく示し、視覚的に興味・関心を持って学習できるよう工夫されている。	「activity」「World Note」により、発展的な考察や広い視野を持った学習ができるよう工夫されている。	自立した生き方を目標とし、社会の変化を捉えて生活課題を見付け、問題解決能力を身に付けることや、人との関わりの大切さを理解できるよう配慮されている。

発行者の 番号・略称	教科書 の記号 ・番号	書名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
7 実教	家基 305	家庭基礎21	これからの暮らしや社会の在り方を模索しライフスタイルを考える力を身に付けるための学習内容が精選され、その程度も適切である。	「自立して生きる」「支えて生きていく」という二つの視点に分けて捉え、必要な知識や判断力を身に付けられるよう配列されており、分量も適切である。	本文との関連資料や発展資料を多く取り入れ、地球環境という視点から現代の問題点を考えさせ、将来の在り方を捉えることができるよう工夫されている。	「課題学習」「持続可能性の視点」を設定して課題意識を持たせるよう工夫されている。	持続可能な社会の実現を目標として、現代の生活課題を捉え将来を設計するために必要な基本的知識や判断力を習得できるように工夫されている。
7 実教	家基 306	図説家庭基礎	衣食住・消費生活に関わる基本的な知識・技術の習得及び、職業観を育成するための学習内容が精選されており、その程度も適切である。	生活者として自立するために必要な基本事項を重視し、「人とかかわって生きる」「生活をつくる」「消費者として自立する」の順に配列されており、分量も適切である。	巻頭、巻末では自立した生活を送るための教材を取り上げ、ワイド版で文字や図表が大きく、見開き構成で興味を持って資料を読むことができるよう配慮されている。	各章の冒頭に自分の生活や人との関わりを見つめ直すワークを設け、自分の特性を知り、自立した生き方について考えられるように工夫されている。	家族・高齢者・子どもと積極的に関わろうとする態度を身に付け、社会で自立・自律して生きることができる基本的な知識・技術を習得できるよう工夫されている。
9 開隆堂	家基 307	家庭基礎 明日の生活を築く	自立した生活の営みに必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得及び、生活設計やキャリアプランニングに生かせる学習内容が精選されており、その程度も適切である。	共に支えあい、主体的に生活を設計することができるよう、第1部「人生を見通し、共に生きる」、第2部「生活を営み、自立する」で構成されており、分量も適切である。	見開き構成で、図表や写真などが大きく、コラムや参考資料など具体的な事例を取り上げることで、課題意識を持って学習できるよう工夫されている。	男女共に興味・関心を持って取り組める実習教材を取り上げ、安全・防災面、震災に對しての課題と対応についても学習できるよう配慮されている。	人の一生を生涯発達の視点で捉え、共に支え合って生活するにはどうすればよいかを考えさせながら、自立した生活に必要な衣食住・消費・経済生活に関する基本的な知識と技術が習得できるよう配慮されている。
50 大修館	家基 308	家庭基礎 豊かな生活をとるにつくる	生涯を通した「生きる力」に必要な知識と技術の習得及び自己実現を目指し、生活を主体的に創造する実践力を身に付けるための学習内容が精選されており、その程度も適切である。	「人の一生と家族・家庭及び福祉」「生活の自立及び消費と環境」について、生活を主体的に築いていくための学習内容がストーリー展開で配列されており、分量も適切である。	イラストや写真、図表が豊富で、用語解説や補足説明が充実しており、ミニ課題や章末課題を設け、実践的・体験的な学習ができるよう配慮されている。	科学的に考え、意思決定をする力を身に付け、生活環境を見直し、家庭や地域に根ざした生活文化を創造していくことができるよう配慮されている。	自立して生活する能力と異世代と関わりながら共に生きる能力を育てることを重視し、家庭や生活に関わる基礎的・基本的な知識と技術をバランスよく学習できるよう配慮されている。

発行者の 番号・略称	教科書 の記号 ・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
50 大修館	家基 309	未来を拓く 高校家庭基礎 ○	社会の変化に対応し、自立と共生を兼ね備え、自己の生活や社会を主体的に創造する実践力を身に付けるための学習内容が精選されており、その程度も適切である。	「人の成長・発達と共生社会」「経済生活、食・衣・住・環境・生活設計」の順に配列し、生活を主体的に創造するための学習内容がテーマ型で展開されており、分量も適切である。	1時間で学ぶ内容を見開きにまとめて展開している。豊富な図表と解説、写真・イラストで構成されており、内容が理解しやすいよう配慮されている。	人々と共に暮らし、生活環境、生活文化をつくっていく力と意思決定能力、生活技術を身に付けることができよう配慮されている。	自立した生活を営み、人々と共に生きる能力を育てるために、家庭や生活の基礎的・基本的な知識と技術を確実に身に付けることができるよう配慮されている。
183 第一	家基 310	高等学校 家庭基礎 ともに生きる・未来をつくる ○	ライフステージごとに自らの生活を創造していく力と、習得した知識や技術を生活上の意思決定や問題解決に生かすことができるよう学習内容が精選され、その程度も適切である。	1編は自立して生き、次世代を育む視点を重視して構成され、2編は食・衣・住・消費生活の順に知識と技術が習得できるよう配列されており、分量も適切である。	各節の冒頭に学習のねらいを端的に示すとともに、一つの学習項目を見開き構成でまとめ、本文の理解を助ける図表や写真を豊富に取り入れ、理解しやすいよう工夫されている。	章末にテーマ学習を設け、言語活動を充実させ、課題を解決するために必要な思考力、表現力を育むことができるよう工夫されている。	生涯を見通して自らの生活を創造するために必要な知識と技術を習得させ、それらを意思決定や問題解決に生かすことができるよう工夫されており、また、言語活動の充実にも配慮されている。

発行者の 番号・略称	教科書 の記号 ・番号	書名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
2 東書	家総 301	家庭総合 自立・共生・創造 ○	身に付けた知識・技術を生かして、主体的に自分らしい生活を創造することができるよう、学習内容が精選されており、その程度も適切である。	自分の人生について見つめ、主体的に学習を進めることができるよう配慮されている。分量も適切である。	判型が大きく、図表や写真が豊富で見やすく配置されている。各見開きに活動例となる「TRY」を入れ、学習を深める工夫がなされている。	小中高の系統性の観点から、巻頭に体系表を掲載し、基礎技能の定着を図るための振り返り学習ができるよう工夫されている。	人は生涯を通して発達するという視点で、将来にわたって生きる力を身に付け、キャリアを意識しながら、自分らしい生活を創造することができるよう配慮されている。
6 教図	家総 302	家庭総合 ともに生きる明日をつくる ○	一生を通して、知識や技術を習得し、生活の場を広げ、人とのつながりを深めていくという視点で学習を進めており、その程度も適切である。	男女の平等、少子高齢化、家庭生活の環境への影響など、社会的な問題について主体的に考えられるよう、適切に配置されている。	豊富な図表やコラム等が見やすく配置されている。各章のはじめに、生活に関わる問題提起があり、学習意欲を高める工夫がなされている。	学習をサポートするキャラクターを設定し、プライバシーに配慮した学習ができるよう工夫されている。	自分の生活を見直し、地域や社会に向けて学習を広げていくことで、生徒が自分らしい豊かな生活を主体的につくることができるよう配慮されている。
7 実教	家総 303	家庭総合 パートナーシップ でつくる未来 ○	人や社会との関わりや自立について、身近な生活問題と社会的な課題との関係を学びながら学習が進められるように内容が精選されており、その程度も適切である。	「人とかかわって生きる」「生活をつくる」「消費者として自立する」の3編で構成されており、自立と共生がつながった配列で、分量も適切である。	カラー写真やイラストが随所に掲載されており、表やグラフも見やすく工夫されている。また、実践的な活動を通して、学習を深めることができるよう工夫されている。	各章末に設けられた「World Note」により、世界に目を向けた内容を取り上げ、広い視点での授業展開ができるよう工夫されている。	人や社会と関わりながら、一人の生活者として必要な知識や技術を身に付け、よりよい生活を目指して実践していく力を育てることができるよう配慮されている。
9 開隆堂	家総 304	家庭総合 明日の生活を築く X	少子高齢社会、男女共同参画社会、国際化などの社会の変化を取り上げ、他者とのつながりの中、多面的に学ぶことができるよう内容が精選されており、その程度も適切である。	全体を4部構成とし、人間の生活を時間軸と空間軸から捉えられるように工夫されており、分量も適切である。	図や写真が豊富であり、男女で共同して生活を営む視点で扱われている。また、多様な学習方法と内容で問題解決的な学習活動に取り組めるような工夫がなされている。	高校生への疑問や投げかけの形でタイトルがつけられており、生徒の考えを引き出すことができるよう工夫されている。	人間の生活を時間軸と空間軸から捉えられるよう工夫されており、主体的に持続可能な社会をつくる学習が進められるよう配慮されている。

発行者の 番号・略称	教科書 の記号 ・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D そ の 他	E 内容についての総合所見 選定の所見
50 大修館	家 総 305	家庭総合 豊かな生活をともに つくる ○	生活者として自立と共生 ができる能力を育てること を目的とし、生活に関わる 知識と技術を、総合的に学 習できるように学習内容が 精選されており、その程度 も適切である。	学習意欲を引き出し、主 体的に生活を創造する力を 付けることができるよう に、内容の組織・配列が工 夫されており、分量も適切 である。	本文を補う図表や用語の 解説が、見やすくレイアウ トされており、内容が理解 しやすいよう工夫されてい る。	学んだことが生活に 生かせるよう、章末課 題や「Theme Study」 が設けられ、課題解決 に取り組めるよう工夫 されている。	生涯にわたって自己の生活や 社会を主体的に創造するため に自分なりの生活観を確立し、課 題解決ができる力を育成できる よう配慮されている。
183 第一	家 総 306	高等学校家庭総合 ともに生きる・未 来をつくる ○	生涯を見通して、自らの 生活を創造し、生活に必要な 知識と技術を習得し、課 題解決に生かすための学習 内容が精選されており、そ の程度も適切である。	各節のはじめに「学習の ねらい」が設けてあり、課 題意識を持って学習ができ るように配列されており、 分量も適切である。	本文の理解を助けるカラ ーイラストや図表が豊富 で、具体的に示されてい る。本文と図表の対応が分 かりやすいよう配慮されて いる。	「暮らしのポイント」を 設け、実生活の 出来事や社会の状況と 学習内容が結び付くよ う工夫されている。	生涯を見通して、自らの生活 を創造していく視点を重視し、 学習した知識や技術を生かし て、意思決定や課題解決に当 たる力を育てることができ るよう配慮されている。
7 実教	生 デ 301	生活デザイン ○	人との関わりの中で自分 の生活をデザインし、自立 していく力を身に付けるた めの学習内容が精選され、 その程度も適切である。	「人とかかわって生き る」「生活をつくる」「消 費者として自立する」の3 編からなり、豊富な実践的 教材により発展的に学習で きるよう工夫されており、 分量も適切である。	カラー写真やイラストを 随所に取り入れ、文字の字 体や色の違いによりポイン トを分かりやすく示してお り、生徒の理解を深めるよ う工夫されている。	随所に「activity」を 設けることにより、発 展的な内容や実践的活 動ができるよう工夫さ れている。	実践的教材を豊富に取り入れ ており、人や社会と関わりなが ら一人の生活者として必要な知 識・技術や、よりよい生活を目 指す実践力を身に付けることが できるよう配慮されている。

発行者の 番号・略称	教科書の 記号 ・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
2 東書	社情 301	社会と情報 ○	情報化の進む社会に参画する態度を育成することを目標に、情報を適切に活用するために必要な内容が選択されており、実習と理論をバランスよく取り入れた授業が展開できるように配慮されている。	実習編と理論編に分けられており、両編を組み合わせることにより、学校の特色や生徒の個性に応じた扱いができる。目次と索引の情報量を増やし、わかりやすく配置して検索しやすくしている。	理論編では生徒の興味を喚起する内容を盛り込み、体系的な情報教育を展開している。実習編では情報モラルの育成に重視し、著作権など活動を行う際に配慮すべき事項を適切に示している。	ソフトウェアの基本操作や色彩の基礎知識など、何度も参照する内容は巻末の資料編にまとめ、生徒の理解を助けている。	情報教育の目標である「情報活用の実践力」「情報の科学的な理解」「情報社会に参画する態度」を育成するための内容が精選されている。生徒の興味を喚起する工夫も施されており、教科書として適切である。
7 実教	社情 302	最新社会と情報 ○	学習指導要領に準拠し、モラルやマナーについて丁寧に扱っている。また身近な題材で展開することにより、学習内容に興味を持たせるとともに、学習者の実感がわくような工夫がされている。	普段意識することなく行っている行動を取り上げ、分析し、その経験を生かして今後の生活に役立つように配慮されている。環境問題も扱い、環境に関心を持たせる工夫がされている。	例題で学ぶことをねらいとし、例題の傍には考え方の項目を適宜設け、考察を入れることにより自ら考える力を養うことができるように配慮されている。	図やグラフを多く掲載し、視覚的理解を促している。学習上の便宜をはかるため、見返しや口絵、巻末資料などを豊富に掲載している。	情報モラルへの扱いが丁寧であり、将来の生活に役立つように配慮されている。誰もが安心して生活することができる社会に貢献するような態度を養う内容で構成されており、教科書として適切である。
7 実教	社情 303	高校社会と情報 ○	学習指導要領に準拠し、身近な題材で展開することにより、学習内容に興味を持たせ、実感がわくように配慮している。情報モラルやルールについて丁寧に扱われており、適切である。	身近な題材で展開することで、情報社会の中で学習者が被害者や加害者にならないような配慮がなされている。環境問題も扱い、環境の保全に寄与する態度が養えるようにしている。	1テーマ見開き2ページを基本とするテーマ学習形式とし、学習内容のねらいが把握しやすいことが配慮されている。難易度が高い項目や関連・補足する項目に表題をつけ、学習の趣旨が明示されている。	図やイラスト、グラフ・表を多数掲載することで、視覚面からも理解を促すような工夫がなされている。	相手の状況や環境を配慮して、誰もが安心して生活することができる社会に貢献できるような態度が養えるよう、配慮されている。学習のねらいが把握しやすいテーマ学習形式としており、適切である。
9 開隆堂	社情 304	社会と情報	学習指導要領の趣旨を踏まえ、情報社会に参画する態度を育成するための知識・技能の習得に重点が置かれている。情報を適切に活用するための知識と技能の習得も図られており、適切である。	問題解決的な学習に対応できるように各学習項目において投げかけから問、要点のまとめ、チャレンジへと内容が体系的に配列され、段階を追って学習が進められるように工夫されている。	見開き構成を展開し、写真、イラスト、図表などを用いてビジュアル的な紙面としている。左右のスペースに適切な情報が掲載され、めりはりのある学習ができるよう工夫されている。	情報モラルに関するリンクを設けたり、巻末資料に用語集を充実させたりして、主体的な学習ができるように配慮している。	情報社会の特性や在り方を考えさせる態度を育成できるように配慮されている。学習の目標を明確に提示することで、学習への動機づけができ、学習者が主体的に学習に取り組めるように配慮されており、適切である。

発行者の 番号・略称	教科書の 記号 ・番号	書 名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
104 数研	社情 305	高等学校 社会と情報	学習指導要領に準拠し、小学校・中学校で学習した内容の定着と発展を目指した内容が重視されている。身近な事例を取り上げて興味を持続して学習できるように配慮されており、適切である。	情報や情報技術を活用するための知識と技能を身につけることができるように、実践的な内容が重視されている。学習の進捗に応じて実習を豊富に入れ、応用力を養うよう配慮されている。	様々な場面で生命や自然に関する写真を取り上げ、機械的・人工的な写真が中心にならないように配慮されている。	VDT作業を行う際、心身の疲れを軽減するための注意点を後見返して説明し、健康を維持する配慮がなされている。	情報社会に主体的に対応できる能力と態度を育てるために、情報に対する科学的な見方や考え方を身につけさせることに重点が置かれている。実践的な内容を重視し、応用力を養うことができ、適切である。
116 日文	社情 306	社会と情報	学習指導要領の目標に準拠し、生徒の発達段階を考慮した内容で構成されている。数学科や公民科などの科目や、総合的な学習の時間との関連にも配慮されている。	情報化における基礎基本を確実に取扱い、生涯を通して役立つ幅広い情報の教養と知識の習得を目標として、習得・活用・探究型のプロセスと意識した構成が行われている。	新しい技術や理論等を積極的に学習内容に取り入れ、教科書の資料性を高めている。実習を多く取り入れ、習得した知識を活用し、内容の理解を深めることに重点が置かれている。	情報検索の具体的なテクニックを巻末資料として示している。また問題解決で有効に活用できる考え方を豊富に紹介している。	基礎基本を確実に取り扱うと同時に、新しい技術や理論も取り入れており、学校の実情に即した理論と実習のバランスに配慮されている。生徒の関心を高める工夫を取り入れており、内容・程度とも適切である。
116 日文	社情 307	見てわかる社会 と情報	学習指導要領に準拠し、その趣旨を生かした構成である。義務教育段階における情報教育の復習になる学習内容を充実させ、基本的な知識や技能が習得できるよう構成されている。	教科書の前半部分に実習を多く配置し、コンピュータの基本操作を確実に習得させるよう配慮されている。後半では前半で得た知識を理論だてた理解にするための内容を示している。	アプリケーションソフトウェアを用いる実習を多く扱い、操作手順を丁寧に示し生徒の自信を高めることに重点を置いている。紙面の大半をイラストにして、見てわかる構成になっている。	イラストのメインキャラクターのセリフを用いて、注意しなければならない事項が無理なく理解できるよう工夫されている。	実習の操作手順を丁寧に示しており、アプリケーション操作の実習書としての使い方もできるように配慮されている。イラスト解説をメインとした紙面構成であり、見てわかる教科書として工夫されている。
183 第一	社情 308	高等学校 社会と情報	学習指導要領に準拠し、情報社会における望ましい態度や行動と、情報社会においてトラブルからの安全を確保するために必要なことを学習できるように配慮されている。	情報モラルの育成を重視し、情報モラルの必要性を情度の学習の基本として意識できるように工夫されている。著作権やマナーに関する考え方も示している。	学習項目を見開き構成でまとめ、学習内容が把握しやすくなるように配慮されている。各章末にまとめを配置し、学習内容が定着できるように工夫がなされている。	プログラミングやデータベースなど、学習者の興味・関心に応じて情報の科学の内容を導入できるように配慮されている。	実践的事例を中心に展開し、新しい考え方や技術などを適宜導入するとともに、基本的なものも多く展開されている。情報モラルの育成について配慮がされており、適切である。

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	書名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
2 東書	情科 301	情報の科学	学習指導要領に準拠し、その目標を達成するために必要な実習と理論がバランスよく配置されている。短時間で実施できる実習を用意し、情報活用能力を定着させるための配慮がなされている。	教科書全体が、「実習編」と「理論編」の2編で構成されており、互いに関連する箇所リンクマークが付されることによって立体的に学習できるよう工夫がなされている。	教科書の内容が見開きで完結するように構成されており、必要なページを選び、内容を組み合わせることにより、生徒に応じて様々な展開ができるよう工夫されている。	随所に発展的な内容のコラムが掲載されており、学習を深めることができる。巻末には「用語集」があり、自ら学ぶ自ら考える力を育成するのに有効である。	情報教育の系統性を重視し、情報社会において必要とされる知識が無理なく身に付くよう工夫がなされている。情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育成することができ、教科書として適切である。
7 実教	情科 302	最新情報の科学	学習指導要領の内容が十分に取り入れられている。情報の基礎理論がしっかり学習できるように編集されているとともに、難易度が高い項目についても丁寧に解説がなされている。	学習する目的や意義を意識させた上で、授業が展開できるよう工夫されている。各学習テーマに対し、例題と解答例が掲載されており、学習内容の理解度を授業の進行に合わせて確認できる。	難解な仕組みや概念は、イラストや図版を多く利用して視覚的に理解しやすいよう工夫されている。例題のすぐ後に確認問題があり、繰り返しにより知識や技能を定着させることができる。	巻末資料として「用語解説」「著作権法」「表計算ソフトウェアの利用」などが掲載されており、必要に応じて参照し活用できるよう工夫されている。	情報社会の進展に主体的に対応できる能力の基礎となる理論・技術を習得できるよう工夫されている。情報倫理や統計処理なども扱っており、他教科との連携にも配慮されている。理論と実習がバランスよく構成されている。
7 実教	情科 303	情報の科学	学習指導要領の内容が十分に取り入れられている。基礎的・基本的内容に重点を置き、豊富な図版により分かりやすく親しみが持てるよう工夫されている。	体験的な実習の「ホップ編」、基礎的な理論の「ステップ編」、実践的な実習の「ジャンプ編」の3編で構成されており、難易度や授業スタイルに合わせて選択できるよう配慮がなされている。	身近で具体的な事例を挙げながら、分かりやすく解説されている。教科書全体こわたり、イラストや図版を多く利用して視覚的に理解しやすいよう工夫されている。	パズルを題材にしたプログラミング、暗号作成・解読、シミュレーションによるクラスの席替えなど、楽しく学習ができるよう工夫されている。	理論と実習の内容を関連させ、楽しみながら学ぶことができるよう工夫されている。巻末には、表計算ソフトウェアの利用やプログラミングが解説されており、実習で有効に活用できるよう工夫されている。
104 数研	情科 304	高等学校 情報の科学	学習指導要領に準拠し、科学的な理解を重視して編集されている。図や表を多用し、仕組みや考え方を分かりやすい表現で丁寧に説明されており、生徒の理解が深まるよう工夫されている。	内容は羅列的にならないように精選されており、分量は適切である。図や表、具体的な写真などが多く盛り込まれており、難しい原理や概念を分かりやすく説明している。	パソコンを使って行う実習と使わずに行える実習が用意されており、それらが一目で区別できるよう工夫されている。教科書全体こわたり、情報モラルの指導に配慮されている。	情報社会の新しいトピックスを取り上げ、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。巻末に実習や資料が用意されており、必要に応じて活用できる。	教科書全体こわたり、学習内容が体系的に整理され取り扱われており、生徒の理解を助けるよう工夫されている。丁寧な記述で、生徒が興味を持ちながら学習できるよう配慮されており、教科書として適切である。



発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	書名	A 内容の選択・程度	B 内容の組織・配列・ 分量	C 内容の取扱い・ 使用上の便宜	D その他	E 内容についての総合所見 選定の所見
116 日文	情科 305	情報の科学  ○	学習指導要領の内容が十分に取り入れられており、学習効果の高まりと授業展開のしやすさに配慮されている。情報教育の目標の3観点をバランスよく育成するよう工夫されている。	教科書全体が、「ネットワーク編」と「問題解決編」の2編で構成されており、高等学校段階で習得すべき内容について効果的に学習できるように配慮されている。分量は適当である。	本文中に掲載されている主な専門用語については、その解説や英語表記などが同じページの側欄に掲載されており、生徒の理解を手助けする工夫がなされている。	各節ごとに学習の目標が示されており、生徒の学習の意欲付けに工夫が見られる。他教科との関連にも配慮がなされている。	情報の科学的な理解が体系的に進むよう構成されている。生徒にとって身近な事例を取り上げ、事例を追いながら学習が進められるよう工夫されている。内容・程度とも精選され適切である。